

維持管理研究会 活動報告

2018年 5月31日

特定非営利活動法人 事業継続推進機構 (BCAO)
BCP維持管理研究会

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

1. 活動の目的

BCM推進者として、危機対応能力の向上と最新知見の習得を図る。

- ① BCM活動に関する情報交換・共有
- ② 演習の実践、及び演習評価方法の研究
- ③ 企業（施設）訪問による先進事例の研究

BCM推進者の主業務

- ・ 組織方針に基づく年度活動計画の策定
- ・ 危機対応組織の体制確立と強化
- ・ BIA／RA／戦略の定期的な見直し
- ・ 訓練や演習の実施、及び結果評価と改善
- ・ 組織の成熟度評価と経営者へ報告
- ・ 評価改善の実施

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

2. 活動メンバ（登録者39名）

18年5月現在

阿部 義顕
鮎川 雅俊
荒家 克己
池田 頼昭
石綿 麻貴子
井上 正太郎
太田 貴之
大山 浩治
葛西 陽一郎
金子 幸泰
金子 康行
國貞 至
久保 俊一郎

小林 真
佐藤 栄治
澤田 信人
清水 浩
守護 彰克
菅谷 豊
高桑 歩美
高橋 哲朗
田中 弘明
種子 俊明
告野 信輔
徳山 賢治
幡谷 剛

平井 美那子
平川 健一
藤本 雄司
星 多利良
松浦 隆之
松下 政光
三富 創
柳谷 諭
山下 昌宏
吉田 善一郎
久世 晋一郎
小田 浩史（副座長）
中谷 明男（座長）

※研究会出席者は、毎回10～15名である。

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

3. 2016年度 活動実績（10回開催）

	実施日	人数	研究会内容
63回	4/13	7名	2015年度の活動評価と今年度の計画
64回	5/26	11名	熊本地震対応報告(幡谷) 首都直下型地震に対応する演習(守護)
65回	6/23	8名	演習ガイドラインの検討(高橋)
66回	7/21	15名	JAL安全啓発センター見学 訓練・演習の違いや考え方
67回	9/29	14名	レジリエンス認証ガイドライン(荒井講師)
68回	11/7	17名	佐川急便東京ロジセンター見学 レジリエンス認証取得について
69回	12/15	15名	BCM能力評価について(小田)
70回	1/25	16名	クロスロードゲーム実践体験(山下)
71回	2/22	18名	防災科学技術研究所の活動概要(水井講師)
72回	3/23	12名	くじ引き演習実践体験(小田)

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

4. 主な活動内容（2016年度）

① 演習体験

- ◆ 首都直下型大地震 演習
- ◆ クロスロードゲーム演習体験
- ◆ くじ引き演習体験

② 企業訪問・見学

- ◆ 佐川急便様 東京ロジスティックセンター
- ◆ 日本航空様 安全センター

③ 最新情報 収集

- ◆ 防災科学技術研究所 水井様
- ◆ レジリエンスジャパン 荒井様

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

5. 2017年度 活動実績（11回開催）

	実施日	人数	研究テーマ
73回	4/18	9名	2016年度の活動評価と2017年度の計画策定
74回	5/18	12名	軍事衝突を想定したリスクや危機対応
75回	6/29	14名	感染症発生時の対応
76回	7/19	12名	安否確認と災害時における情報共有(高橋)
77回	8/24	13名	サイコロジカルファーストエイド 演習実施(深谷講師)
78回	9/21	14名	危機対応と訓練・演習内容の研究
79回	11/14	10名	BCM運用の客観的な評価項目の研究
80回	12/20	12名	BCM成熟度の評価診断チェックシート作成
81回	1/17	12名	訓練演習における評価診断手法の研究
82回	2/22	10名	SGH様 事業継続・大規模災害対応訓練 見学
83回	3/22	12名	くじ引き 演習実施(小田)

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

6. 主な活動内容（2017年度）

6-1. インシデントと危機対応の研究

① 感染症対応

組織として事業単位に重要性を明確にして「いつまでに、なにを、どのレベルで継続するのか」しっかりと事前検討しておくことが重要である。

感染症発生時の事業継続

- 従業員の安全を第一に考えながら、社会的要求
顧客要求、契約違反等を考慮し、業務別の優先
順位を組織内で合意を得ておくこと。
- 優先順位に応じた業務継続の対策をしっかりと
講じておく。

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

6. 主な活動内容（2017年度）

② 軍事衝突を想定したリスク

どういう事態発生でも 想定外としない！

リソースベースでBCP策定していれば大地震でも、弾道ミサイル落下でも応用は効くのではないか？

- ・本社機能を紛争地域から外に移す手順確認
- ・主要なサービス機能／製造を域外で行う手順確認
- ・主要な調達先の代替を域外に確保

弾道ミサイル落下時の初動対応

Jアラート（+館内放送）

⇒安全確保行動 ⇒対策本部設置（情報収集）

⇒被害状況把握（安否含む） ⇒館内待機

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

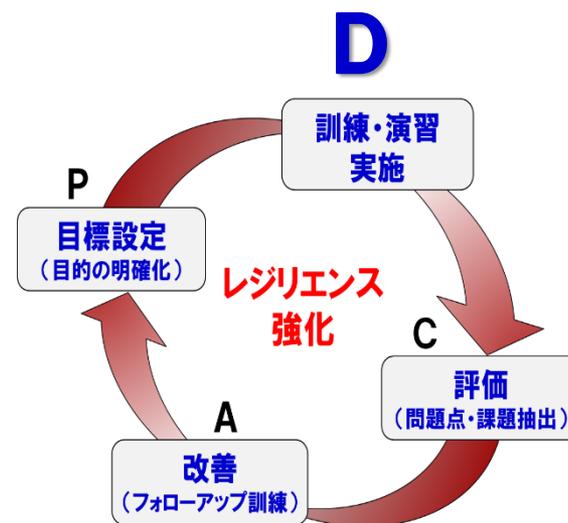
6. 主な活動内容（2017年度）

6-2. 演習実施

① 訓練演習の考え方

- ・ 斬新な演習方法や内容を検討し、**受講者を飽きさせない工夫を**図ることが重要である。

⇒ ニーズ分析
⇒ 演習範囲の決定
⇒ パフォーマンス目標設定
⇒ 演習タイプ(種類・方式)
⇒ シナリオ策定
⇒ 演習実施
⇒ レビュー
⇒ 課題抽出・改善



※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

6. 主な活動内容（2017年度）

② 演習実施

◆ くじ引き演習 実践体験

いつでも、何処でも、簡単に演習を！ をテーマとして参加者が想定したインシデントをくじにより選定し全員で検討する。 **海外拠点等で脅威の考え方が大きく異なる地域では大変有効である。**

◆ サイコロジカルファーストエイド 体験

- **見る** （急を要する基本的ニーズがある人の確認）
（申告なストレス反応を示す人の確認）
- **聞く** （必要なものや気がかりなことを聞く）
（耳を傾け気持ちを落ち着かせる）
- **つなぐ** （現場のリアルタイム状況の把握）

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

6. 主な活動内容

訓練(演習) 評価チェックシート <サンプル>

評価項目		確認内容	評価
環境	設置場所	・停電でも作業可能な窓のある場所に設置されているか 又は照明設備は準備されているか	5
		・空調設備がなくても長時間作業が可能な場所か	4
		・本部員が集合しやすい場所か(エレベータ無しでも移動可能)	5
	設備機器	・対策本部として活動可能な設備・備品は準備されているか	
	・準備した設備機器は役立つか(仕様とおりに稼働しているか)		
	・MCA無線や衛星携帯電話が利用できるか	5	
ト	外部関連	・緊急連絡先(関係機関等)の情報は明確になっているか	3
		・関係機関との連絡(メール等)の情報入手は明確になっているか	4
		・連絡手段(手紙)に不備・不足の箇所は無かったか	4
		・主要顧客や取引先の連絡リストは整備されているか	4
		・避難所、医療機関などの場所や連絡リストはあるか	3
		・公共インフラ(電気・水道・通信・鉄道・道路等)の情報手段は明確になっているか	3
組織対応力	情報収集	・収集した情報の整理に多くの時間を費やしていないか	2
		・緊急度や重要度(要因別)に応じて分類・整理されているか	3
		・アクションプラン作成のために必要情報は入手できているか(公共インフラ・主要顧客・サプライヤなど)	3
	指示命令	・複数の人が一斉に指示命令をしていないか 一人の責任者に多くの人が報告や指示を仰いでいないか	2
		・対策本部員は各自の役割を理解し対応できているか	3
		・優先事項や重要事項を明確にして指示しているか(現場が追えるべきことを具体的に指示)	4

演習評価チェックシート

BCP維持管理 診断チェックシート						
項目	質問/確認事項	優先度		達成度		
		一低	高一	一低	高一	
方針	経営目標に合わせた長期的な計画を策定していますか(3~5年) ⇒経営戦略と連動した事業継続戦略の確認	1	2	3	4	5
	BCM全体計画を立案し、経営者から承認を受けていますか ⇒経営責任者の承認印	1	2	3	4	5
	事業継続方針や危機対応について、全社員へ周知徹底していますか ⇒朝礼・メール通達、及びEラーニング等	1	2	3	4	5
	全社の事業継続方針と各事業部門のBCPは合致していますか ⇒各拠点(事業部門)の作成ドキュメント	1	2	3	4	5
リスク評価	国・自治体の条例や知見等の情報を収集し内容を確認していますか ⇒収集した情報や社内への提供	1	2	3	4	5
	定期的な新たな脅威の発生有無や組織の脆弱性を診断していますか ⇒新たな脅威や診断した記録	1	2	3	4	5
	自然災害や事故リスク以外のリスクについても検討されていますか ⇒リスク内容を検討したドキュメント	1	2	3	4	5
	拠点移転や建物建替え時は、リスクの再評価を実施していますか ⇒環境変化の有無と対応状況を確認	1	2	3	4	5
組織能力改善	組織の現状における問題点(弱み)や課題は明確になっていますか ⇒問題点や課題管理表(進捗管理表)	1	2	3	4	5
	重要サプライヤが被災(倒産含む)時の業務影響を評価していますか ⇒サプライヤと業務影響を評価したドキュメント	1	2	3	4	5
	経営戦略的に重要な業務を特定していますか ⇒新たな業務や重要業務の見直し記録	1	2	3	4	5
	重要業務の継続戦略(戦術・手段)を見直していますか ⇒重要業務や戦略・対策の見直し記録	1	2	3	4	5
継続戦略	定期的な重要業務の戦略やその対策を再検討していますか ⇒重要業務や戦略・対策の見直し記録	1	2	3	4	5
	重要事業が中断時の損失額や社会的影響を見直していますか ⇒時間経過と概算損失額や社会的影響の確認	1	2	3	4	5
	重要業務の継続戦略(戦術・手段)を対策本部員は理解していますか ⇒理解度の確認方法とその結果を確認	1	2	3	4	5
	事業継続戦略に必要な重要リソースを管理し対策を施していますか ⇒重要リソース一覧と改善管理(推進)表	1	2	3	4	5
継続戦略	重要業務継続の資源・部品等の調達ルートは複数確保できていますか ⇒事業継続戦略と重要サプライヤリストの関連性	1	2	3	4	5
	取引先と部品等の調達に必要な災害時基本契約は締結できていますか ⇒重要な取引先との基本契約書	1	2	3	4	5
	利害関係者(顧客・取引先)の名簿を定期的に収集し、更新していますか ⇒会社名・責任者/担当者・連絡先・緊急連絡手段	1	2	3	4	5

BCM診断評価チェックシート

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

6. 主な活動内容（2017年度）

6-3. SGHグループ様 事業継続・大規模災害訓練 見学

感想（抜粋）

- ① 監督官庁／金融機関／取引先企業など多数の関係者を招待し公開訓練としている。
- ② 見学者に i Pad を使い対策本部と同インシデントによるシミュレーション訓練に挑戦できた。
- ③ 日々の業務の中に「ライフラインを絶やさない！」との使命感がしっかり根付けている。
- ④ 事業継続に対する様々な最新の設備（ドローン等）が大変参考になった。

7. 2018年度の活動方針

BC推進者として、継続的な改善を図り、組織強化による危機対応能力の向上を目指す！

① 新たなリスクと危機対応能力の研究

- ・想定リスクとその対応方法の研究
- ・国際規格の要求事項やガイドラインの研究

② 新しい訓練・演習手法の研究

- ・企画/演習方法やシナリオ研究、演習実施
- ・危機対応能力の評価手法の研究

③ 先進企業訪問及び意見交換会

- ・先進企業の訪問、防災関連施設の視察

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

ご清聴ありがとうございました

油断大敵！
安心は安全の敵である



特定非営利活動法人
事業継続推進機構
BCP維持管理研究会

A Specified Non-Profit Japanese Corporation
Business Continuity Advancement Organization (BCAO)